

# 山雲水月

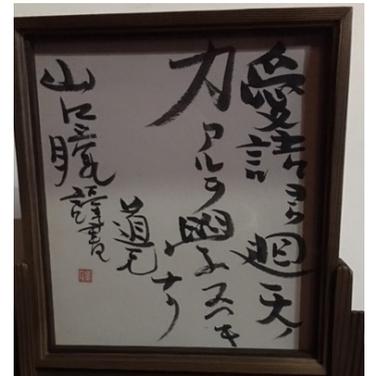
発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道



## 平成30年戊戌 住職年頭挨拶

### 「愛語よく廻天の力あることを学すべし」

道元禅師『正法眼蔵』より



明けましておめでとうございます。  
年頭に当り、本年は曹洞宗祖・道元禅師の著した『正法眼蔵』より、上記のお言葉を紹介いたします。

「愛語」とは、四摂法という四つの菩薩行である「布施・愛語・利行・同事」の中の一つであります。相手の事を思って発する慈悲の心のこもった言葉である愛語には、その人の考え方をかえるだけでなく、人生を一変させる、更には世界をもかえる（廻天）大きな力があるという意味です。

常日頃、愛語をもって人に接しておりますか？先ずは身近な人から、愛語を実践して参りましょう。また、愛語とは正反対である愚痴、悪口、恨みつらみ等は、その逆の力があるとも取れます。家族を、他人を、そして自分自身を尊重し、慈愛の言葉にて、廻天の気概をもって、本年も歩んで参りたく存じます。合掌

## 【平成30年 年回表】

一周忌	平成二十九年	二十三回忌	平成八年
三回忌	平成二十八年	二十七回忌	平成四年
七回忌	平成二十四年	三十三回忌	昭和六十一年
十三回忌	平成十八年	五十回忌	昭和四十四年
十七回忌	平成十四年	百回忌	大正八年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。  
※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。  
(但し、百回忌を除きます)

### 平成30年

### 龍源寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/11大般若大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/17～3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 檀家総会
- 大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13～7/16 京浜地区盂蘭盆会
- ※7月下旬(一泊二日) 第37回子供禪の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 9/20～9/26 秋季彼岸会
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・華道教室

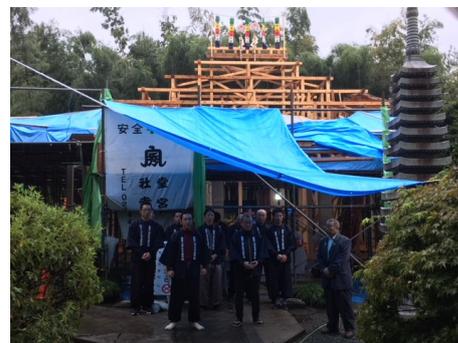
## 本堂上棟会法要、無事圓成



入内島棟梁による祝詞奉納



脇棟梁による槌打の儀



宮大工様による木遣り奉納



上棟会法要を勤める住職

去る10月22日日曜日大安の午前10時、当寺本堂上棟会法要が執り行われました。終了後は併せて、本堂建設委員会及び総代人世話人会議が開催されました。

上棟会法要は、当山住職が導師を勤めました。また、施工を担う上州を代表する宮大工、堂宮入秀社寺建築株式会社の入内島秀男棟梁、入内島育宏脇棟梁はじめ13名の宮大工の皆様が中心となり、上棟式を勤めました。

当山では、事前に檀信徒全員ほか関係各位に案内葉書を発送いたしました。また、多胡地区では区長様より回覧板にてご案内をいたしました。多くの檀信徒の皆様、隣保班の皆様、石匠多比良、多胡石材産業、榊原畳店、田中塗装店ほか施工を担当する業者も参列。建設委員会及び総代人世話人各位が実行委員となり、60名程の山内関係者と共に、法要を古式に則り厳粛に修行することが出来ました。

当日は、残念乍ら台風21号の影響で大雨でありました。以前はよく行われていた「建前（餅投げ）」の行事も勤める予定でしたが、天候により中止し、菱餅やお菓子等は参列者にお渡しをさせていただきました。

総代長様にはお餅及び赤飯を、総代人様ほか多くの有志の皆様方に、お菓子や準備物、祝賀等を頂戴いたしましたこと、茲に篤く感謝申し上げます。

引き続き、本堂再建に向け、ご理解及び更なるご協力を賜りますようお願いいたします。



餅やお菓子等

当地は建前では菱餅を投げます

## 吉井町仏教会創立60周年記念式典圓成 ↓ 式典の様子

昨秋10月29日（日）、吉井町仏教会創立60周年記念式典が吉井文化会館にて盛会裏に行われました。同仏教会は、吉井町仏教寺院22箇寺が所属し、昭和33年に渡辺石橋仁叟寺29世住職によって創立され、現在仁叟寺住職が会長をつとめております。

また、清興には地元高崎市出身の新進気鋭の女流落語家である林家つる子さんによる落語が披露され、参加された300名を超える多くの方々の笑いが絶えない式典となりました。



## 曹洞宗群馬県宗務所主催 授戒会圓成

仁叟寺住職が所長を勤めます曹洞宗群馬県宗務所主催にて、昨秋10月31日（月）～11月5日（日）に掛けて、授戒会が修行されました。同法会は、宗務所梅花部60周年及び群馬県曹洞宗青年会55周年を記念し、梅花部・青年会はもとより多くの関係各位ご協力のもと、およそ三年間に亘り多くの会議を経て慎重審議をし、企画を練り、準備に準備を重ねた上で、執り行われました。

授戒会は、曹洞宗門最大の法要であり、約一週間に亘りつとめられます。群馬県では、6年前に青年会の50周年を記念し、大本山總持寺貫首江川辰三大禅師猗下戒師のもと、仁叟寺様にて行われて以来となる大法要でした。今回の授戒会は、所長である仁叟寺住職が戒師をつとめ、教授師をつとめる橋本梅花部長のご自坊である桐生市大雄院様を戒場に、170名ほどの戒弟を迎え、県内各地より随喜の和尚様方50名以上が集い、無事圓成いたしました。

梅花部60周年という節目の年であり、法要は梅花流詠讃歌がお唱えされ、梅花講習も行われました。当寺梅花講の皆様はじめ、この度ご参加くださいました皆様、誠に有難うございました。



↑×の法要では禅問答も修行  
↓2班に分けての記念写真撮影



## 自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



←贈呈の様子（曹洞宗震災復興支援分室）ボランティア作業風景（南相馬市小高）

去る11月14～15日に掛けて、被災地域である福島、宮城、岩手東北三県に伺って参りました。群馬県曹洞宗青年会創立55周年記念で昨春無事圓成いたしました「現代名僧墨蹟展」の収益金を被災地域の教育関連の団体に届けるべく青年会14名にて各県各班に分かれ贈呈式を行って参りました。曹洞宗門でも復興に力を入れており、今回の贈呈に当たって、福島県に所在する曹洞宗震災復興支援分室久間室長様に諸々お世話になりました。

贈呈式後に住職ほか有志9名と曹洞宗福島県青年会の瀧澤会長ほか有志15名、合計24名で、福島県被災地域である南相馬市小高地区にて奉仕活動をさせていただきました。

今回も南相馬市の新祥寺野田精頭副住職に窓口になっていただき、作業に当たって準備を行っていただきました。有難うございました。

此の度は、南相馬市小高区の竹林伐採作業等を

福島県群馬県両県青年会員が力を合わせ行い、皆と共に汗を流しました。

早いもので昨年3月11日で、同震災7回忌でした。出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも協力をさせていただければと考えております。

## 出牛裕一総代長 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。昨年中は色々とお世話になり、誠に有難うございました。本年も宜しくお願いいたします。

茲に改めて、この新しい年が、我が寺にとって檀信徒の皆さんにとっても良い年でありますように、また日本国にとっても平和と幸福であるよう、お祈りいたします。

本堂再建事業により檀信徒の皆様にはご理解とご協力をいただきました。昨年は魂抜法要から引越し作業、解体工事、地鎮会法要、上棟会法要などを経て、新年を迎えることが出来ました。当事業に当たり、会議や研修旅行を何度も開催し、建設委員会を中心に檀信徒の皆様はじめ多くの関係各位のご理解とご協力を賜り工事開始となりました。工事中は、何かとご不便をお掛けいたしますが、宜しくお願い申し上げます。

現在、宮大工・堂宮入秀社寺建築株式会社による本堂工事が着々と進んでおります。本堂の姿が出来、今の所、建設委員会で審議し、檀信徒の皆様をお願いをいたしました通り、順調に工事は進んでおります。工事の無事を念じ、本堂再建に向け、更なるご協力をお願いいたします。

この立派な本堂が、実際の生活に即し、講演や研修会が催され、教育や文化の発展に大きな役割を果たしてくれるものと思っております。また本堂が完成した暁には、地域の避難所として活用が出来ればとも思っております。建設委員の皆様のご配慮、檀信徒各位の深いご理解、大勢の方々のご協力に感謝し、本堂が無事完成に向かうことを祈念しております。

上棟式にて挨拶を行う  
出牛裕一総代長



### 龍源寺総代人一同

出牛裕一 白田 博 木村照夫

## 上棟会以降の本堂再建進捗報告

上棟会法要終了後、屋根工事が行われました。12月初旬に屋根工事は完了。足場及び柱巻も外されました。堂々とした葺が完成いたしました。また、恒例の冬季おてんまでは、新本堂が見えるよう、植木の伐採を総代世話人建設委員有志で行って下さりました。有難うございました。

屋根工事完了後の本堂風景



## 行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

龍源寺開闢以来の大事業となります本堂再建事業。昨年4月29日に発遣法要、5月連休中に引越作業、5月に解体工事、6月に伐採作業、6月24日に地鎮式法要、7月に基礎工事、10月22日に上棟式法要、その後に屋根工事等等がつとめられました。

お蔭様で工程通り順調に進んでおります。有難く感謝しております。しかしながら、住職としては、期待1割・不安9割といった所で

あります。再来年の落慶まで工事は続きます。

檀信徒の皆様には、物心両面に於いてお世話になっております。引き続き、更なるご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。合掌

昨年6月に太田市の  
靈雲寺様より来た新  
たに家族になりました  
猫のコンプみです

